

**日野市硬式庭球連盟
創立 30 周年記念誌**

平成 8 年 (1996)
日野市硬式庭球連盟

目 次

| | | | |
|--------------------|-------------------|---------|-------|
| 挨拶 | 日野市硬式庭球連盟会長 | 吉 村 正 | 2 |
| 祝 辞 | 日野市長 | 森 田 喜美男 | 3 |
| | 日野市体育協会会長 | 小 峰 邦 典 | 4 |
| | 日野市教育委員会教育長 | 園 田 匠 | 5 |
| | 東京テニス協会理事長 | 中 川 暢 行 | 6 |
| | 東京都市町村テニス協会会長 | 房 前 博 人 | 7 |
| | プロテニスプレーヤー(日野市在住) | 森 稔 詞 | 8 |
| | 日野市硬式庭球連盟顧問 | 下 村 按 理 | 9 |
| | | | |
| 表 彰 | | | |
| 功労者表彰 | | | 10 |
| 連盟表彰 | | | 11 |
| 30年の歩み | | | 12～15 |
| 各種スナップ | | | |
| 昭和42年第1回日野市民庭球大会 | | | 16 |
| 練習会 | | | 17 |
| 平成7年第33回日野市民庭球大会 | | | 18～19 |
| 連盟大会結果 | | | |
| 市民大会(シングルス) | | | 20～29 |
| 男子ダブルス | | | 30 |
| 女子ダブルス | | | 31 |
| 混合ダブルス&ファミリー混合ダブルス | | | 32 |
| 都民大会 | | | 33 |
| 東京都市町村対抗 団体・女子 | | | 34 |
| 都民スポーツレクリエーション大会 | | | 35 |
| 連盟主催練習会 | | | |
| 初心者講習会 | | | 36 |
| 強化練習会 | | | 36 |
| 基礎体力向上事業 | | | 37～38 |
| 平成7年度 連盟の現状 | | | |
| 事業実施計画 | | | 39 |
| 役員名簿(役員写真) | | | 40～41 |
| 連盟規約 | | | 42～44 |
| 加盟16チーム紹介 | | | 45～60 |
| 指導者名簿 | | | 61 |
| 広 告 | | | 62～79 |
| 編集後記 | | | 80 |



ごあいさつ

日野市硬式庭球連盟会長 吉 村 正

本年、日野市硬式庭球連盟は、30周年を迎えます。この輝かしい節目の年にささやかであります
が、この記念誌を発行できますことは、喜びに耐えません。

改めて、創設以来当連盟育成にご尽力くださいました諸先輩各位のご指導の賜物と感謝申し上げます。

また、市ならびに関係諸氏のご功績に対し、心より敬意を表する次第であります。

現在の日本テニス界は、ウインブルドンで男子では松岡修造選手がベスト8、女子では伊達公子
選手がベスト4、沢松奈生子選手がベスト8と活躍しております。そして特に誇りに思うことは日
野在住（日野市小・中学校卒業）の森 稔詞選手がプロとして活躍されていることです。今年もず
でに活動を開始し、世界各地を転戦しておられると聞いております。近年になく世界のテニスが身
近になったような感じが致します。

30周年を迎え振り返りますと昭和41年4月当連盟が創設、その年の6月には体育協会への加盟が
承認されました。その後、庭球連盟も諸先輩のご努力で市民のスポーツ団体として、テニスを通し
て地域社会に貢献できることになりました。市民大会を始め春、秋の個人戦、テニス教室、市の代
表として対外試合に選手を派遣するなど活動して参りました。都民大会では、昭和44年、53年、55
年、57年と4回の優勝、その中でも昭和44年の優勝は都民大会の優勝旗が初めて多摩川を渡った記
念すべき年でありました。

多摩地区のテニスの歴史は日野から始まったと言っても過言ではありません。

今後もこの30年の貴い経験を生かし、テニスを生涯スポーツとしての普及、愛好されますよう、
役員一同努力していく所存でありますので、関係各位の一層のご支援、ご指導を宜しくお願い申し
上げます。

簡単であります但し連盟を代表いたしましてご挨拶とさせていただきます。



硬式庭球連盟30周年を祝って

日野市長 森田 喜美男

日野市硬式庭球連盟の創立30周年おめでとうございます。

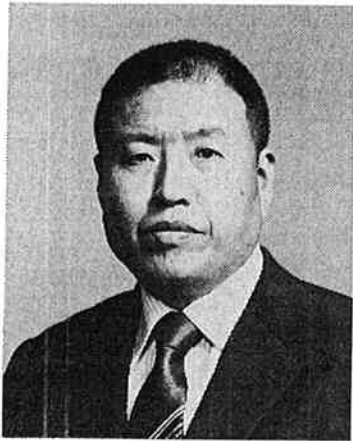
連盟が結成された昭和41年の頃はちょうど東京オリンピックが行われてスポーツに対する国民の関心が高まった時期に当たります。

地域社会でもテニス愛好者の発意によって連盟が結成され、初心者に対するテニス教室が開かれたり、各クラスの大会が開催されるなどご活躍によって今日に至っております。

テニスと言うスポーツが、先輩後輩の交流と友情を育てる場となることがよく理解できます。

市民生活にスポーツが取り入れられて近年は余暇時代にふさわしい文化活動・スポーツ・レクリエーションそれぞれ日常的に生活化しつつあります。テニスの品位高いスポーツ性が広く普及することは、地域社会に望ましい方向です。

市民の体力づくりと地域のスポーツ振興に連盟のますますのご活躍と発展を祈念申し上げ30周年の祝詞といたします。



三十周年に想う

日野市体育協会会長 小 峯 邦 典

健康こそが 最大の幸福 社会体育振興法が昭和36年に施行され「スポーツアドバイザー」体育指導員が地域に任命され個人の健康は“自らの手で”の感じを色濃くしました この期を前後して テニス連盟が発足したと思われす 以来歴代会長を初め役員各位の創造力と高い識見に支えられ 設立間もない昭和四十四年五月都民大育大会に於て初優勝する外、多摩の総合大会にも何年かに且り覇者になる等当協会の模範となる優良団体に成長してまいりました 又ソフト面でも スポーツ教室の開催等々地域スポーツ人口の拡大に向けて努力が続けられて来ました これ等が前述の快挙につながるものと高く評価を致します

週休二日の正に余暇時代の昨今生活実態の変遷 家庭環境 生活様式の変貌等々から来る地域住民自らのスポーツ意識の高揚と共に 次代を担うジュニア選手層の育成にも目を向けて戴ければ幸甚に存じます。

30周年の青年期祝辞の中での意見を御許し願い市民に愛される連盟の発展に益々の活躍を期待し お祝いの言葉といたします



日野市硬式庭球連盟創立30周年を祝って

日野市教育委員会教育長 園 田 匠

日野市硬式庭球連盟が、創立30周年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されますことに、心よりお祝いを申し上げます。

硬式庭球連盟が創立以来、テニスの普及や愛好者の方々の相互連携・親睦などに力を尽されましたこととともに、都民大会など多くの競技会に出場され、優勝されるなど大きな業績をあげてこられましたことに、深く敬意をあらわします。

30年という歳月は、過ぎてみれば短かく感じられるかも知れませんが、その時々の方々の役員の方々の皆様の皆様のご努力とご苦勞は、大変なものではなかったかと思えます。

現在は、人々のスポーツ活動や健康増進への関心が高まっています。このような時に、硬式庭球連盟の方々が、テニス愛好者の技術向上などに力を注がれ、テニスを広く普及して下さっておられますことは、生涯学習・生涯スポーツの時代を迎える今日、まことに意義ある活動であると思えます。この創立30周年を契機に、日野市硬式庭球連盟が、ますますご発展されますことを願っております。



祝 辞

東京テニス協会理事長 中 川 暢 行

日野市硬式庭球連盟が、30周年を迎えられました事を、心からお祝い申し上げます。

東京テニス協会が、設立されました昭和28年ころ、東京のテニス界は23区内の一部テニスクラブと、学生、高校生を中心とした活動にすぎませんでした。昭和30年の後半は高度成長にあり、経済的余裕もでき、又皇太子殿下御成婚によるテニスブームもあり、テニスもレジャーとして、大衆スポーツとして愛好されるようになった事から、いろんな要望が出てきました。この要望とニーズに答えるため多摩地区にテニス連盟が設立され、今年30周年を迎えられました事は、多摩地区はもちろん東京そして我が国テニスの発展の土台になってきた事は言うまでもありません。連盟設立に関与され、運営に携わってこられた方々のボランティア活動は言葉に言い表わせないご苦勞があったと思います。お陰様を持ちまして東京は国体において天皇杯、皇后杯の二連覇、我が国においても世界に通じる選手が育ってきました。ここにお礼を申し上げ、日野市硬式庭球連盟30周年のお祝いと貴連盟のますますのご発展を祈り祝辞と致します。



おめでとう30周年

東京都市町村テニス協会会長 房前博人

日野市硬式庭球連盟創立30周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

30年前三多摩地区に始めて日野市が多くの企業をまとめ先陣をきって連盟を結成されたことは、当時注目の的であったと思います。そして貴連盟は企業レベルから市民レベルへとスポーツを通じて連帯感を深め発展してきたことは周知の通りであります。

私達市町村の連盟が組織作りから運営に至るまで常にお手本として学んできたことも事実であります。

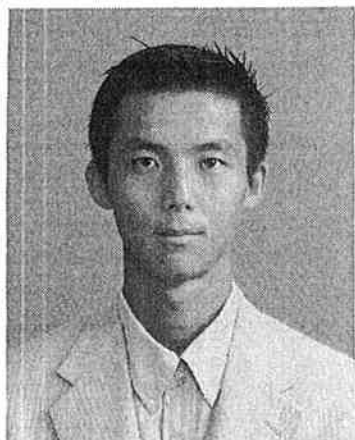
東京都市町村テニス協会も発足以来常に全力で協力、応援して下さいたことを本誌をかりて厚くお礼申し上げます。夏の対抗庭球大会では、第1回、第2回連続して優勝をとげ、テニスの普及並に技術向上を私達に与えて下さった功績は偉大であるといえます。

さて歴史は年輪によってきざまれ、その歴史から伝統が生れるといえます。

三多摩のテニス発祥の地は日野市にあり、すばらしい伝統となって燦然と輝いています。発足より現在に至るまで会長以下役員そして会員の皆様が一体となって力を合わせ組織の充実に、普及活動に活躍されたことが今日、30周年の輝かしい日を迎えることができたのではないかと思います。

谷あいから湧き出た水が泉となり流れ、あちこちの流れを集め、何十倍もの大河になった30年目の今日、どうか発足時のあの大きなエネルギーとそして会員同士の協力と和の精神を忘れることなく、大海とならんことを心から願うものであります。

30周年にあたり貴連盟の益々のご発展を心から念じ祝辞といたします。



祝 辞

プロテニスプレーヤー 森 稔 詞

日野市硬式庭球連盟が、この度30周年を迎えられたこと心からお祝い申し上げます。また、記念事業として、30周年の記念誌を発刊され、この祝辞を投稿できることを光栄に感じます。

私は、大阪生まれですが、4歳のときに、父の関係で日野市に移り、現在も日野の旭が丘に住んでいます。中学時代は、朝日生命のテニス教室で本格的にテニスをはじめ、日野四中から試合にも参加、関東中学選手権で優勝しました。確か、市民大会にも参加した記憶があります。そんなことから、日野市硬式庭球連盟には、少年時代にはお世話になっています。

現在、私は、プロテニスプレーヤーとして試合に参加しています。女子に比べて男子は活躍していないじゃないかと、皆さんにいわれます。確かに世界の壁は厚いということは痛感しています。しかし、私もできる限り海外遠征をして世界へ挑戦するよう心掛けています。又他の日本選手も頑張っていますので、是非、皆さんの暖かいご声援をお願い致します。

最後に、今後も日野市硬式庭球連盟の発展と共にますますのテニスの普及を心よりお祈り申し上げます。

主な戦歴

- | | | |
|---------|-------------|------------------|
| 90、91年度 | 全日本学生選手権 | シングルス2連覇 |
| 92年度 | I B M全日本選手権 | ダブルス優勝（ペアー 佐藤哲哉） |
| 94年度 | 全日本室内選手権 | シングルス優勝 |
| 95年度 | I B M全日本選手権 | シングルスBest4 |